

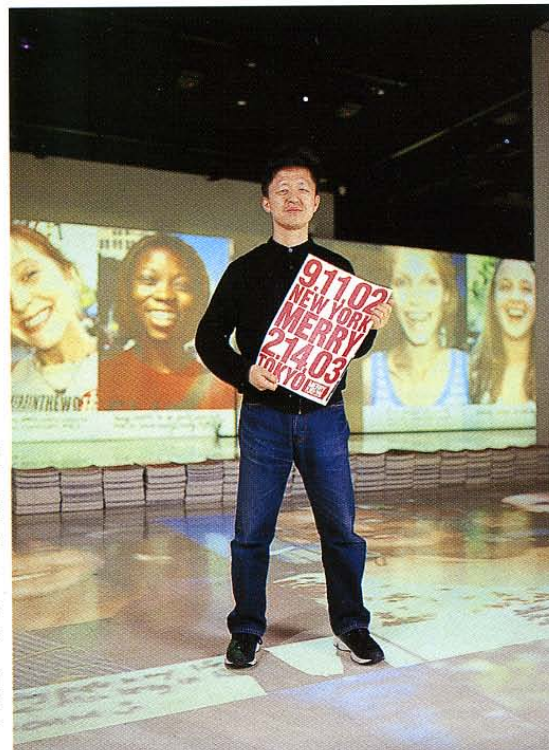
国際的アートディレクターのライフワーク「Merry Project」フリーペーパーという新展開へ

絢爛たる世界を経て辿りついたシンプルな笑顔

アートディレクターとして雷名をとどろかす水谷孝次が、この数年心血を注いできたのが「メリー・プロジェクト」だ。街角の人々に「あなたにとってメリーとは何ですか？」と問い、その答えと、笑顔の写真とを、様々なかたちで展示してみせる。「メリー」とは幸福や楽しさを意味する言葉。米国旅行中に、バスで出会った少女たちのシンプルな笑顔は何気なく撮影したのがきっかけのひとつという。「広告の仕事も、何十年もやっている」と煮詰まってくるんです。新しいものを求めて悶々とし、また元々好きだった写真を色々と試みているなかで、最大公約数として、メリーという言葉で括れるものが浮かんできた」

ロンドンの若者の笑顔をプロジェクトを使って原宿で展示、神戸では再開発工事の仮囲いに

写真をプリントするなど、ケースに応じて手法も多彩。2月には六本木シンクゾーンで、テロ1年後のN.Y.で撮った笑顔とメッセージを、壁や床一面にインスタレーションとして投影した。「N.Y.という負の遺産を持ったテーマを与えられたときに、みな悲劇の写真を考えられると思う。でも僕はあえて、若い人たちの希望と勇氣、未来へのメリーというものをテーマにしたかった。人種の垣塙で、いわば地球の縮図である街を舞台にすることで、プロジェクトにも、かつてない意味を持たせられたと思います」



水谷孝次 Koji Mizutani

1951年生。アートディレクターとして有名企業の広告デザインを手がけ、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ展金賞（1996）他、内外で受賞多数。「現在、「東京メリー」も構想中です」。手にしたフリーペーパーは今展覧会にあわせて発行され、東京都内CDショップや書店、また全国の主要美術館とN.Y.を中心に世界各地で配布されている。<http://www.21merry.net>